

道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時 2年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 主 題 名 すなおな心で 内容項目A-(2)正直、誠実

II 教 材 名 「お月さまとコロ」（出典：日本文教出版）

III 主題設定の理由

1 道徳的価値について

本主題は、新学習指導要領の内容項目A-(2)正直、誠実「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。」をねらいとしている。

何事にも積極的に取り組み、自分らしさを発揮するためには、うそをつかず、明るく楽しい生活を心掛けることが大切である。しかし、誰かに叱られたり、何をやってもうまくいかなかったりした時には、意地を張ったり心にもないことを言ってしまうことがある。過ちや失敗をする可能性は誰にでもあるが、自己の過ちを振り返らずうそをついたりごまかしをしたりしていると、暗い気持ちになり、伸び伸びと過ごすことができなくなってしまう。いけないことをしてしまったことを認め、素直に謝ることができる態度を育成することが、明るく前向きに生活していくために必要である。

2 児童の実態について

本学級の児童は、これまでの学習を通して、自分の特徴に気付くことや正直な心、よいと思うことを進んで行うことの大切さを学んでいる。

多くの児童は、自分にはよいところがあることや、正直に生きると気持ちがよいということを知っている。だが、自分のよいところについて自信をもちきれなかったり、他人に左右されて自分の素直な気持ちを表せなかったりする児童もいる。また、悪いことをした時に素直に認められず、注意してくれた友達に強い口調で言い返すことでトラブルになることもある。

自分の心に素直になれない時は、涙もろくなったりやる気を失ったりして心がもやもやすることもある。しかし、素直になれた時には心が晴れ晴れとしてすがすがしい気持ちになれる。うそやごまかしをせず、明るく楽しい生活を送ることの気持ちよさを感じさせることが、本学級の児童にとって大切である。

3 教材について

本時で扱う資料の価値は以下のとおりである。

本教材は、友達に自分の正直な気持ちを伝えられず悪い態度をとってしまったコロが、お月さまの助言を素直に受け入れて元気を取り戻し、友達に謝ることを決めて心が晴れ晴れとするという内容である。「あやまるんだ」「あやまらなくてもいいんだ」という二つの心に揺れ動く経験は、児童にとって身近なものであり、主人公にも感情移入しやすいと思われる。

自分の思い通りにならなくて怒ったり文句を言ったりしてしまう時は誰にでもある。しかし、自分の悪かったところに気づき、素直な心で行動することができれば、明るく楽しい気持ちを取り戻すことができる。いつも心を健康に保ち元気であるために、自分に素直になることが大切だと気付かせることができる教材である。

IV 本時の展開

1 ねらい

主人公であるコロがギロになかなか謝れなかった場面においてコロの気持ちについて考えることを通して、嘘をついたりごまかしをしたりせず素直に謝ろうとする態度を養う。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点（◎：主発問）	☆：振り返りの子供の意識
1	本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。（5分） ○素直になれなかった経験に関わるアンケート結果を掲示する。 めあて 素直になれたら、どうなるのだろう。	
2	教科書の教材文の範読を聞く。（5分） ○デジタル教材を活用し、範読の間に場面絵を黒板に貼り、教材の内容を整理する。	
3	教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。（20分） ◇「コロが、ギロに誘われても素直になれなかったのはなぜでしょうか。」 ○コロが素直になれない原因を考えさせ、自分との関わりで考えられるように促す。 ◎『「謝らなくてはいけない。」と思ったのに、なかなか言えないコロは、どんなことを思っているのでしょうか。」 ○話し手・聞き手、それぞれに視点を与えてから、ペアで話し合わせたり途中でペアを変えたりして交流させる。 ◇「コロは何と言ってギロに謝ると思いますか。」 ○代表児童による役割演技を見て話し合い、素直に謝るよさについての考えを深める。 ○心が伝わる謝り方についても考えられるように、聞く側の視点を示す。	
4	道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてももう一度考える。（5分） ◇「素直になれたら、自分や周りの人はどうなるのだろう。」 ○学習のめあてに戻り、改めて気付いたことや考えたことを問いかける。	
5	今日の学習で感じたことを振り返り、道徳ノートにまとめる。（10分） ○本時の学習を振り返り、よりよい自己の考えや生き方への思いや願いを深めさせる。 ○自分との関わりで考えられるよう、振り返りの視点を掲示する。 ☆謝れない時は嫌な気持ちだけど、謝れたら気分がすっきりするから、これからはちゃんと謝ろうと思った。 ☆いつも素直な気持ちでいるのは難しいな。でも、素直な気持ちで行動していれば、自分も友達も気持ちよく生活できることが分かった。	
<評価の視点>		
○コロの気持ちの変化を考えることを通して、自分の心に素直になることで晴れ晴れとした気持ちになれることに気づき、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めていたか。		
○素直に謝るかどうかわるコロの心の葛藤を考える中で、自己の過ちを認め、改めていくことの大切さについて、多面的・多角的な見方ができていたか。		